

2024~2025年度 地区スローガン

持続可能なロータリーに！ 共に学び、共に行動  
Make Rotary Sustainable！ Learn together Act together

2024~2025年度クラブテーマ

ロータリーを楽しみ、人生をエンジョイ

例会日 毎週火曜日 12:30~13:30 例会場 勝山市市民交流センター 〒911-0811 福井県勝山市片瀬町1丁目402番地  
TEL 0779-87-7761 FAX 0779-87-7760 URL http://katsuyamarc.jimdo.co Email:katsuyamarc@gmail.com  
■会長 斎藤清一郎 ■幹事 久保光子 編集発行・文責 公共イメージ委員会

第3049回 例会 (9月24日)

●会長スピーチ

会長 斎藤 清一郎



22日は滝川会員が開催に東奔西走された勝山市制70周年記念のプロレスを観戦してきました。ロータリー会員も多数観戦にいられて、大変盛況のうちに終了しました。その熱いプロレスが終わり翌日からは一気に秋の雰囲気になり、我が家でもエアコンを切って過ごしました。

このところ春や秋がなくて、夏と冬しかないような気候になってしまいました。どうぞ体調管理に十分お気を付けてください。

本日申し訳ありませんが、14時から「(一社)全国建設産業団体連合会 全国大会」が福井で開催され、それに出席しなければならず早退させていただきます。

●委員会報告

●青少年奉仕委員会

織田 昌弘

小中学生理科作品展の金賞の数が決まりました。奨学生13人中中学生5人です。10月8日に予定していました理科研究発表ですが、都合により小学生の発表ができなくなり、今は担当の先生の報告を計画しております。

●親睦ロータリー家族委員会

小林 達治

10月1日の親睦例会出発時刻を18:15にしたいと思しますのでよろしくお願ひします。

●社会奉仕委員会

和田 耕三

10月20日(日)9:30~11:30 池ヶ原湿原のヨシ刈りが行われます。ご参加のほどよろしくお願ひします。

●SAA

幅田 浩二

10月の会場設営はAグループとなりますのでお願ひします。

服装については当面の間クールビズを継続とします。

●出席報告

上山 弥一

9月24日 欠席1名 95.45%  
9月17日 欠席3名 86.96%

●ニコニコ報告

山内 政司

届出欠席 多田慶一郎・笠松誠一・山本泰司  
満員御礼ありがとうございました 滝川博則

お礼

滝川博則会員

私事ですが、勝山市制70周年記念大日本プロレス勝山大会を無事終了することができました。ロータリーの皆様には多数お越しいただきありがとうございました。報道発表では750名の観客数ということで、大盛況で終わらせていただきました。



最前列に鷲田会員  
上山会員と  
富士根会員は席が  
離れていてお写真  
撮れず・・・



本日 プログラム	親睦例会	10月8日 プログラム	ゲスト卓話 向 康邦氏	10月12日 プログラム	I M	10月15日 プログラム	休会
-------------	------	----------------	----------------	-----------------	-----	-----------------	----

## ゲスト卓話

## 自伐型林業にたどり着く

もりのこみち かつやま 大久保 千恵氏

「昨年度、勝山市で「もりのこみち かつやま」という任意団体を立ち上げた大久保と申します。どうぞよろしくお願いたします。今日は私がなぜ自伐型林業にたどり着いたのかと、日本での生活ではかけ離れてしまった山との関わり、私が今後どうしていきたいかについて話をしたいと思っています。

私は2022年に自伐型林業というものを始めました。実際自伐型林業に出会う前は全然関係のないところで生きてきました。北九州の外国語学部を卒業して、福岡で日本語教師、青年海外協力隊で中国に2年半、勝山に戻ってからは英語の常勤、非常勤講師、特別支援教育支援員、中国語講師、去年の3月までは勝山市の教育委員として会議に参加、民泊の通訳など同時進行で人から頼まれて自分ができるなと思ったことはさせてもらうようにしてきました。

ターニングポイントが2019年にあり、環境活動家の谷口貴久さんと社会活動家の藤原ひろのぶさんが勝山市で講演会を開かれました。今地球上で起こっている問題や社会問題について話を聞くことができ、自分の生活を見直すきっかけになり、勝山の豊かな自然を、子どもたち、そのまた子どもたちにも残したいという思いが強くなりました。

そこから私が目指したのは、地球と体に優しい生活です。具体的には、自然素材のものを選ぶ。身の回りで手に入るものを使う。自分で作れるものは作る。すでにあるものを大切にする。エネルギーやものを循環させる。ごみを減らす。これを自分の軸に置いて生活するようになりました。

蜜蝋ラップをご存じですか。ミツバチが巣を作る時に体から出すものを染み込ませたラップで、洗って何回も繰り返し使えるものを作るようになり、友達に配るうちにワークショップを開いたりマルシェで販売したりするようになりました。我が家ではかれこれ5年ぐらい普通のラップは存在していなくて使わなくても生活できるということが今わかっています。

その他にもゴミを減らすというところで、生ゴミを減らしたいと思うようになり、生ゴミコンポストのキューロというものに出会いました。四角い木の箱で、上からお日様の光が入る透明の蓋がついていて、ここ5年私の家では生ゴミはほとんどゴミの袋に入れずにすんでいるので3週間に1回ぐらいのゴミ出しですんでいます。小指1本で持ち上げられるくらい軽いです。生ゴミは箱の中で分解されて、土の量は増えずに畑でも使えるようなリン酸カリたっぷりのいい土になっていっています。

エネルギーということで太陽光パネル・ソーラークーラーを使ったり、プラスチックを減らしたいというところで、スーパーのプラスチックが気になり始めて、畑で野菜作りやきのこ作り、自然農法の講座も受講しに行きました。そこで、次のターニングポイントと出会うことになりました。

自然農法の講座で出会った人は、自伐型林業という言葉を知ってくれました。自伐型林業の女性フォーラムが2022年の6月11日開かれ、全国から福井市へ女性30人が集まりました。こんなに全国で活躍してる女性がいること

を初めて知り、私は人生で初めてユンボを操作しました。すごく楽しくて私でも運転することができるものなんだというのが心に残りました。

自伐型林業の好きなところは

- 山の環境を整えながら、自然の中で活動ができる（自然の中では、日々色々な発見があっておもしろい）
- 木や石など、山にある材料で道づくりが可能
- 作った道が壊れにくく、草刈りもほぼ必要ない
- 木材や薪が手に入る
- 土中環境、生物多様性にも配慮している
- 自伐型林業に携わる人たちが優しい

わたしが目指してきた生き方と繋がっている、面白いと思って足を踏み入れることになりました。



2022年に友達の団体に入れてもらって、福井市野波町で活動しました。福井県の補助金をもらい自伐型林業50日研修に参加、チェーンソーの使い方、ユンボの操縦、刈払機について習いました。

その後、勝山市で活動したいと思うようになり、任意団体「もりのこみち かつやま」を設立しました。勝山市にも話を聞いていただいて自伐型林業を応援する補助金というものを今年度作っていただきました。

今年8月11日に実際にユンボを借りて、北郷町で施業スタートすることができました。

今後の展望ですが、まずは楽しいことがいっぱい山作り、遊べる場所が作れるといいなと思っています。

私が初めて出会った山主さんの為の尺八の練習場所、ブランコ、スラックライン、ツリークライミング、マウンテンバイクで遊べる場所ができたらいいいなと思っています。今はまだ目の前のことでいっぱいです。講座を開いたり、お茶会をしたりイベントをやって楽しいことができたかなと思っています。

そして市内のプレイヤーを増やしたいです。実際山の木を売ってもそんなお金にならないと山主さんたちは思っています。それでもプレイヤーを増やさないで、私の次の人たちを見つけないと、勝山の綺麗な自然を残すことはできないと思うのです。

そのためには、楽しくやってるんだよってという活動を発信して、イベントで人を呼んで講習も開催して持続的な森林管理を可能にしたいと思っています

そして山から出てくるエネルギーや資源、薪や、キノコ、キノコを作る原木をもうちょっと活用してもいいんじゃないかなと思っています。

そういうことをする中で、ビジネスとして成り立つ形を私がモデルとして作れば、もしかすると次に繋がる人が出てくるんじゃないかなと思っています。

日々、自然とともに山にあるものを活用して丁寧に暮らしていき、山に関わる人が増えることで、自然を意識して生きる人が多くなり、災害に強い山が全国に広がるといいなと思っています。

山の中を歩くことは足腰にもいいし、自然の中にいるのは体にもいいと思います。研修で出会った仲間たちと40年後も楽しく笑い合えるといいなと思っています。